

おおふなと 社協だより

2021年6月号

ふれあいネットワーク



今月の表紙

なかむらまさき
中村正樹
ゆうきさん
天音くん(9歳)
(立根町)

【特集】本人の意思決定と権利を守る

日常生活自立支援事業 2~3

みんなの花楽風流ばたけ 4

鯉のぼり特別企画&お弁当配布会 4

高齢者等日常生活支援事業 5

被災地住民支え合い活動助成 5

お知らせ 6~7

輝き人 8

人生楽しんだもの勝ち!やりたいことは何でもチャレンジ!!

本人の意思決定と 権利を守る



日常生活自立支援事業

○住み慣れた地域で
安心して暮らせるように

認知症などにより、判断能力が必ずしも十分でない人たちを対象に、福祉サービスの利用援助や金銭管理などの生活サポートを行う「日常生活自立支援事業」（通称「あんしんねっと」）が事業開始から20年を経過しました。

事業開始以前は、日常的な金銭管理を1人で行うことができず困っている地域住民のために、民生児童委員やヘルパーが善意で支えてきましたが、トラブルに巻き込まれるケースもあり、精神的負担が大きくなつていきました。また、介護保険制度が平成12年4月より施行されることなどに伴い、適切な福祉サービスが利用できるよう平成11年10月に本事業の前身となる「地域福祉権利擁護事業」がスタートしました。

翌年には、成年後見制度も施行され、本人に代わって財産や権利を法的に守る体制が整備され、地域住民が安心して生活できるようになっています。

○利用者数は高い水準で推移

岩手県内においては、事業開始以来、一貫して新規利用者が増加しています。昨年度には実利用者数が1,000人を超え、大船渡市でも利用者数が高止まりしている状態です。

核家族化や高齢社会の到来によつて、地域で生きづらさを感じたり、生活課題を抱えた住民が多くなつており、生活の根幹を担う本事業にかかる期待が大きくなつていると言えます。

○まずはご相談ください

「あんしんねっと」は、「福祉サービスの書類が来たけど、どう手続きしたらしいかわからない」、「物忘れが多くて財布や預金通帳を失くしてしまったので心配」、「計画的にお金を使いたいけど上手くできない」という悩みがある人などが利用しています。

利用対象者や、提供するサービスなどについては次のとおりです。

金銭管理などに不安や悩みを感じたら、お気軽にご相談ください。

※「地域福祉権利擁護事業」は、平成19年に「日常生活自立支援事業」に改称されました。

【対象者】

次のいずれにも該当する人

①認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力が十分でない人

②本事業の契約内容、サービス内容を理解できる人

【サービス内容】

①福祉サービスの利用援助・申込、契約手続きの代理、代行

・利用料の支払い手続き

②日常的金銭管理

・年金や福祉手当などの受領に必要な手続き

・税金や社会保険料、医療費、公共料金の支払い手続き

③書類等の預かり

・本人名義の預貯金通帳、印鑑

・年金証書、権利証、保険証書など

※身元引受人や法律行為の代理、代行はできません。

【利用料金】

1時間あたり1,300円

※生活保護を受給している人は無料です。

利用までの流れ

1 相談受付



家族など本人以外からの相談でも構いません。守秘義務がありますので、相談内容、個人情報は漏らしません。

3 支援計画の作成



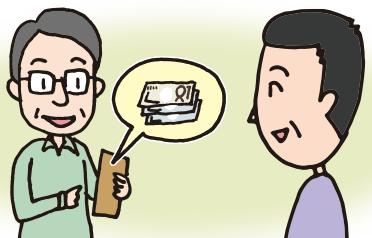
困りごとについて本人と一緒に考えながら支援計画を作成します。

2 相談・打ち合わせ



専門員がご自宅にお伺いします。本人の困りごとや契約意思、能力の確認をします。

4 契約、サービス開始



契約内容・支援計画に納得をいただければ利用契約を結びます。その後、支援計画に沿って、生活支援員がサービスを提供します。

「あんしんねっと」Q&A

Q1

判断能力がどんどん低下し、契約内容・支援計画を理解できなくなった場合、「あんしんねっと」の利用を続けられますか？

A

「あんしんねっと」は、契約内容・支援計画を理解できる人が対象となっていますので、この場合は、成年後見制度など適切なサービスにつないでいきます。

Q2

「あんしんねっと」は、在宅で暮らしていないと利用できないのですか？

A

施設入所中、病院入院中でも利用できます。ただし、同様の支援を施設や病院が行う場合があり、その際は利用が中止となることがあります。

利用してよかつた「あんしんねっと」

事例

サービス利用の効果

本人には月2回、小遣いのみを手渡すことにし、本事業を紹介され、社会福祉協議会に相談した。生活に困った本人は、事業を希望したところから、サービス利用開始となつた。支払いはなくなり、滞納はなくなり、家賃や公共料金などもなくなり、食事に困ることで、宅配弁当を利用することもなくなり、安定した日常生活を送れるようになつた。

60代男性・認知症（契約締結までの経緯）

妻との二人暮らしで、金銭管理は妻が対応していました。その妻が体調を崩しかし、一日に何度もATMでお金を払い戻すことが多くなり、家賃や公共料金は滞納、食事をすることにも困るようになつた。しかし、一度何度もATMでお金を払い戻すことで、認識症状も出現した。妻が体調を崩したことから、変わって本人が管理することになった。妻との二人暮らしで、金銭管理は妻が対応していました。その妻が体調を崩しかし、一日に何度もATMでお金を払い戻すことが多くなり、家賃や公共料金は滞納、食事をすることにも困るようになつた。しかし、一度何度もATMでお金を払い戻すことで、認識症状も出現した。妻が体調を崩すことから、変わって本人が管理することになった。

畑を活用した住民のつながりづくり みんなの花楽風流ばたけ



参加者は男女を問わず、できることを楽しく作業しています

立根町細野で開催されている畠サロン「みんなの花楽風流ばたけ」（会長：名須川正男さん）では、コロナに負けず、体を動かしながら楽しい時間を過ごしています。

毎月第3火曜日に開催している畠サロンは、会員が所有している畠で野菜を育て、作業のあとに会員みんなでお茶を飲み、交流します。3年前に不定期開催で始まり、今では毎月開催に

なつたそうです。

5月18日（火）に開かれた畠サロンは草取りからスタート。青空のもと1時間ほどの作業を終え、お茶を飲んだ後は、ベビーリーフの種まきをしました。

会員みんなで色とりどりの野菜を育て、楽しい場所になることを願つてネーミングされた「花楽風流ばたけ」では、ジャガイモやニラ、大根など様々な野菜が収穫されます。取れたての野菜を調理したり、お土産として持ち帰ることが何よりも樂しみのこと。

会員の中村好子さんは、「みんながやれることをやつている。体を動かした後に飲むお茶は格段においしいです」と話していました。

会場を提供している細谷ミサヲさんは「汗をかいだ後に、風が吹いた時の心地よさをみんなで感じながら、これからも楽しく和やかにやっていきたい」と話してくれました。

コロナ禍でも健やかな成長を願って 鯉のぼり特別企画＆お弁当配布会



カブトムシの幼虫は7月頃成虫になります

5月5日の子どもの日に、希望者を対象としたカブトムシの幼虫配布と、子ども食堂実行委員会によるお弁当配布会が同時に行われました。

この企画は、開催を予定していた「鯉のぼり子どものつどい」が中止になったことに伴い、準備していたカブトムシの幼虫と、お弁当も併せて配布することで、子どもたちに少しでも楽しい1日を過ごしてもらおうとタイアップ

したもののです。

当日は、福祉の里交流広場を会場として、例年と同様に鯉のぼりを掲揚。カブトムシの幼虫60匹、お弁当50個を準備して、たくさん

のボランティアの協力のもと来場する親子を迎えるました。

飼育ケースを抱えた子どもたちが集まり、配布がスタートする

と、カブトムシの幼虫を目の当たりにし、喜ぶ子どもに対しても親が怖がる場面も。

参加した平野さん親子は「コロナの感染が広がっているため、連休でも出かけることができなかつたのですが、お土産もいただけて子どもたちも大喜びでした。1食分のご飯づくりからも解放され、親子共々満足できました」と話してくれました。

ボランティアとして参加した佐藤俊晃さん（大船渡高校2年）は、「市内に子ども食堂のような取り組みがあつて、多くの人たちが応援していることに驚きました。これからも参加してみたい」と今後の意気込みを語ってくれました。

心地よい住環境整備のために

高齢者等日常生活支援事業



利用者の要望に応じて丁寧に対応します

社会福祉協議会では、高齢者のみの世帯などを対象に「高齢者等日常生活支援事業」を行っています。この事業は、高齢や障がいにより、自分では対応できない草刈りや窓拭きを支援するものです。

これらの対応は、介護保険サービスや障害福祉サービスではなく対象外ですが、住民が心地よく生活していくうえでは欠かせないものです。

令和2年度は、草刈り22件、窓拭き28件を実施しました。お盆

前や年末の依頼が多い傾向があり、混み合う場合は、過去にサービスを利用したことのない人を優先し、順番に対応します。作業を行うのは、主に就労を目指している人たちで、就労訓練の場にもなっています。

5月13日に、窓拭き、草取りサービスを利用した人は、「体調を崩してから、思うように動けなくなり、自分で作業が難しかった。利用して本当によかった。また来年もお願いしたい」と話していました。

○対象者（対象世帯）

大船渡市内に居住し、次のいずれかに該当する世帯
①75歳以上の者のみの世帯
②障がいをもつひとり暮らし、又は障がいをもつ人が属し、且つ同居する者が75歳以上の者のみの世帯

○申請方法

利用申請書に、免許証や保険証、障害者手帳など、年齢や障がいの有無を証明できる書類の写しを添えて申請

○利用料 無料

住民同士の支え合いを支援

被災地住民支え合い活動助成



助成金を使いながら充実した活動を展開しています

岩手県共同募金会では、東日本大震災被災地の復興と被災地域住民のコミュニティ再生に向けて、地域住民同士の支え合い活動を支援する団体を対象に「被災地住民支え合い活動助成」を実施しています。

この助成は、「被災した人たちを応援したい」という全国からの募金をもとに実施されている事業です。生活支援活動やコミュニケーション活動のほか、サロン活動も助成対象となります。令和2年度は、市内17団体が

この助成金を利用して、高齢者の見守り活動や、各種研修会、お茶っこサロンなどの活動を行いました。

○対象団体

①県内の復興公営住宅等の被災者を対象に、住民同士の支え合い活動を支援する団体（自治会・町内会を含む）、NPO法人など

②県内に拠点を置き、県民5人以上で構成されている団体

○助成金額

①概ね3か月以上の中期的な活動の場合 上限27万円

②1日・1回限りの限定的な活動の場合 上限9万円

※①②とも、総事業費の90%以内

○助成対象となる経費 消耗品・備品費、弁当・茶菓代、印刷費、会場代など

○応募方法

指定の応募書類に必要事項を記載

印刷費、会場代などを提出

○応募期間

5月6日（木）～9月30日（木）

※助成予定総額に達した時点で受付終了となります

※応募書類は岩手県共同募金会ホームページからダウンロードできます

のおでかけひろば「ゆるり」は、7月21日（水）（午前10時～午前11時50分）に開催します。

* 岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと定期相談会

キャリア支援員が介護の職場に就職したい人などの相談に応じます。申込み、問い合わせは下記までご連絡ください。

介護のしごと相談日程（7月）

| 開催日 | 場 所 | 時 間 |
|--------|-------------|------------|
| 5日(月) | 大船渡市Y・Sセンター | 午前9時～午後3時 |
| 8日(木) | ハローワーク大船渡 | 午前10時～正午 |
| 12日(月) | 大船渡市Y・Sセンター | 午前9時～午後3時 |
| 13日(火) | おおふなぽーと | 午前10時～午後3時 |
| 15日(木) | ハローワーク大船渡 | 午前10時～正午 |
| 26日(月) | 大船渡市Y・Sセンター | 午前9時～午後3時 |
| 29日(木) | ハローワーク大船渡 | 午前10時～正午 |

※13日(火)はお子様と一緒にご相談可能です。

申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本

電 話 080-8201-0200

メ リ ー n-sakamoto.shakyo@mopera.net

※感染防止対策を講じたうえで開催します。

※事前予約の方を優先させていただきます。

ほいくのしごと出張相談会

保育士資格があり（取得見込者含む）、保育士として働くことを考えている人の相談に応じます。申込み、問い合わせは下記までご連絡ください。

日 時 7月16日(金)午前10時30分～午後2時

場 所 ハローワーク大船渡

費 用 無料

申込・問い合わせ先

岩手県保育士・保育所支援センター 山田

電 話 019-637-9605／

（携帯）080-8200-1054

※感染防止対策を講じたうえで開催します。

※事前予約の方を優先させていただきます。

* Y・Sセンター情報 第2期トレーニング教室受講者募集

下記の日程でトレーニング教室を開講します。事前申込みが必要です。

場 所 大船渡市Y・Sセンター
受付期間 6月23日(水)～6月30日(水)
午前9時30分～午後4時30分
(土・日曜日を除く)



申込・ 大船渡市社会福祉協議会
問い合わせ先 電話 0192(27)0001(代表)

イベントについては新型コロナウイルスの感染状況により中止となる場合があります。

* 子育て支援事業情報

つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。参加には事前申込みが必要です。

つどいの広場イベント日程（7月）

| 開催日 | 内 容 | 時 間 |
|--------|---------------|-------------------|
| 1日(木) | はじめてさんの日 | 午前10時～午後2時50分 |
| 8日(木) | ぼうさいカフェ | 午前10時20分～午前11時50分 |
| 15日(木) | 子育て相談の日 | 午前10時～午後2時50分 |
| | ハローワーク出張お仕事相談 | 午前10時～午前11時30分 |
| 29日(木) | 栄養相談会 | 午前10時20分～午前11時50分 |

おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている人ならどなたでも利用できます。

日 時 毎週火曜日

【午前の部】午前10時～午前11時50分

【午後の部】午後1時～午後2時50分

※消毒作業のため正午から午後1時は入室できません。

場 所 おおふなぽーと2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのため

下記の日程でトレーニング教室を開講します。事前申込みが必要です。

開 催 日 7月7日～9月22日(全12回)
定 員 20人
内 容 筋力トレーニング

申込方法 申込書に受講料を添えて申込む(電話予約不可)
受 講 料 水曜クラス 2,000円、
金曜クラス・リズム体操 1,000円
(施設利用料別途)

トレーニング教室日程

| 曜日 | 教 室 名 | 時 間 | 開 催 日 | 定 員 | 内 容 |
|----|-------|-----------------|------------------------------------|-----|----------|
| 水 | 水曜クラス | 午後1時30分～午前2時30分 | 7月7日～9月22日(全12回) | 20人 | 筋力トレーニング |
| 金 | 金曜クラス | 午後1時30分～午後2時30分 | 7月9日～9月24日第2・4金曜日(全6回)※7月のみ第2・5金曜日 | 20人 | 筋力トレーニング |
| | リズム体操 | 午後1時30分～午後2時30分 | 7月2日～9月17日第1・3金曜日(全6回) | 15人 | 軽体操 |

第2期水泳教室受講者募集

場所 大船渡市Y・Sセンター
 受付期間 6月23日(水)～6月30日(水)
 午前9時30分～午後4時30分
 (土曜・日曜を除く)
 受付方法 申込書に受講料を添えて申込む(電話予約可)

※電話予約した場合は受付期間中に申込書と受講料を持参してください。受付期間中に持参されない場合は予約取消となりますのでご了承ください。

受講料 一律1,500円
 (施設利用料別途)
 その他 1人3教室まで申込可。
 火曜日午前と木曜日午前の水中運動は重複申込不可。

水泳教室日程

| 曜日 | 教室名 | 時間 | 開催日 | 定員 | 内容 |
|----|-----------|-------------------|----------------------|-----|------------------------------|
| 火 | 火曜水中運動 | 午前 9時30分～午前10時30分 | 7月 6日～9月7日 (全9回) | 25人 | 水中体操ほか |
| | 火曜水泳教室 | 午後 1時30分～午後 2時30分 | | 10人 | 水泳指導(上級) 平泳ぎ・バタフライ |
| 水 | 水曜水泳教室 | 午前 9時30分～午前10時30分 | 7月 7日～9月8日 (全9回) | 20人 | 水泳指導(中級) 背泳ぎ・バタフライ |
| | 水曜水中運動 | 午後 1時30分～午後 2時30分 | | 25人 | 水中体操ほか |
| 木 | 水曜水泳教室(夜) | 午後 6時30分～午後 7時30分 | 7月 8日～9月9日 (全8回) | 16人 | 水泳指導(初・中・上級) 4泳法 |
| | 木曜水中運動 | 午前 9時30分～午前10時30分 | | 25人 | 水中体操ほか |
| 金 | 木曜水泳教室 | 午後 1時30分～午後 2時30分 | 7月 9日～9月10日 (全8回) | 10人 | 水泳指導(初級) ウォーキング・クロール |
| | 金曜水中運動 | 午後 1時30分～午後 2時30分 | | 20人 | 水泳指導(初・上級) クロール・背泳ぎ・バタフライ |
| 土 | 児童水泳教室 | 午前 9時30分～午前10時30分 | 7月10日～9月11日 (全9回) | 25人 | 水中体操ほか |
| | | | | 25人 | 水泳指導(初級) 水慣れ・背泳ぎ |

会費は7月20日頃から、納入のお願いをする予定ですので、ご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。

また、企業による賛助会費も隨時受け付けています。

金額 一世帯1,000円(年額)

赤い羽根共同募金受入(5月) (敬称略)

一般募金 匿名(1件)

介護のワンポイントアドバイス ● 体位変換 ~長座位から端座位~

体位変換のメリット

- ①同一の姿勢でいることの不快感の解消
- ②褥瘡(床ずれ)や血流障害の予防
- ③筋や関節の拘縮予防

体位変換注意点

血圧の急激な降下に注意し、顔色や表情などを伺いながら行いましょう



①足を下ろす側の手を腰の横に置き、もう一方の手を体の前に置きます。介護者は介護を受ける人の肩から肩甲骨を支え、両足が開かないよう膝の裏に腕を入れ固定します。



②肩甲骨を支えている腕の方向に身体を少し傾け、坐骨を支点に回転がしやすくなるようにしましょう。
 ③介護を受ける人の両足が床について座位が安定しているか確認します。

大船渡市社会福祉協議会会費納入のお願い

社会福祉協議会は、地域住民の皆さんとともに地域福祉活動に取り組むことを目的とし、社会福祉法に基づいて全市町村に設置されている社会福祉法人です。社会福祉協議会の活動は地域住民、関係団体の皆さんからの会費のほか、市からの受託金、補助金などによって支えられており、地域福祉活動やボランティア活動を推進する財源として活用させていただいている。

我が家ペット



我が家
「トラちゃん・シロちゃん」

兄弟仲良く長生きしてね♪

末崎町 つば弘

投稿写真大募集!

①写真データをメールする

メールに画像を添付して送ってください。



②写真を郵送する

宛先は8ページに掲載しています。

①・②共通
 ●ペットの名前
 ●一言説明コメント
 ●名前(ペンネーム可)
 ●住所(町まで可)を必ず添えてください

次号締め切り
7月5日(月)

輝き人

ふく やま ほく と
福 山 北 斗さん(25歳)

赤崎町在住。平成27年に東京都から移住。同じく埼玉県から移住してきたプロライダー桑野さんと、廃校になった甫嶺小学校跡地に三陸BMXスタジアムを建設。



BMXで大船渡を盛り上げたい

○校舎を残したい思いから

震災直後から、父は大船渡で震災復興、地域の活性化に関わる仕事をしていました。ある時、住民の一人から、「甫嶺小学校を残すために何かできないか」と相談がありました。そこで父から協力を求められ、熟考した結果大学を辞め、東北唯一のBMX施設の建設を目指すことになりました。

この計画が立ち上がり2年間は、埼玉県秩父市にあるBMX施設で、運営の勉強をさせてもらいました。その時知り合ったプロライダーの桑野さんと意気投合し、二人で大船渡に移住してきました。

○うつつけだつたBMX

学生時代は野球やラグビーに打ち込み、スポーツは大好きでしたが、BMXとは無縁でした。

三陸の景観、東北唯一の競技施設、学校跡地を活かせるのは何かと考えていましたとき、BMXにたどり着きました。

この競技は、自転車競技の一つで、速さを競うレースと技を競うフリー

スタイルがあります。世界的にはメジャーですが、日本ではまだマニアです。さらに、東北・北海道地方には、この競技の国際基準レースコース施設が一つもありません。海が近い甫嶺小学校の景観は最高で、スタートヒルからはきれいな海が見えます。この計画、環境に、BMXはまさにうつつけだつたと心から思いました。

○東北唯一の施設を目指して

この計画をスタートさせるにあたり、住民説明会を数回開催しました。当初は、馴染みのない競技、そして移住してきた知らない人ということもあります。賛否両論ありました。それでも、最終的には、「校舎を残したい」との住民の思いから理解を得ることができました。

コースづくりには、地元の製材業者から土を無料で提供してもらいましたが、作業は石の除去と土の締め固めの繰り返し、雨が降れば崩れてやり直し、かなり難航しました。土日には、クラブチームの親子が手伝いに来てくれましたが、作業のほとんどは県外から応

○帰ってきた子どもたちの顔

オープnすると、近隣の人たちが様子を見に来てくれました。子どもたちが、コースを元気に走り回る姿を見ながら、「学校から子どもたちの元気な声が聞こえるのが本当に嬉しい」と、なかには涙を流している人もいました。

この姿を見たとき、やつてきたことは間違つてなかつたと心から思いました。

○大船渡を一人でも多くの人に

このスタジアムには、レースコースのほかに、体育館にフリースタイル用の施設、校舎を活用した宿泊施設もあります。これらをうまく活かして、県外からもたくさん的人に来てもらえるような企画を考えていきたいと思っています。

この計画の目的は、BMXの普及だけではなく、地域の活性化です。地域が盛り上がるなら、BMXのほかにも、マリンスポーツや魚釣りなど、この地ならではの体験を取り入れ、大船渡に一人でも多くの人に入れてもらえるようにしていきたいです。